

# 地場企業の経営動向調査

(平成30年度第2四半期)

平成30年10月24日

 福岡商工会議所

総合企画部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし2,000社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業1,906社（構成比率95.3%）、大企業94社（構成比率4.7%）により構成されている。

回答した企業数は602社、回答率30.1%となっており、回答企業の内訳は、中小企業567社（構成比率94.2%）、大企業35社（5.8%）となっている。

## 調査要領

四半期毎にアンケートを実施し、今回ファクスを利用した。

内容は前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成30年7～9月期の実績、及び平成30年10～12月期の予想について、平成30年9月時点で調査した。

## 調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI・・・Diffusion Index（景気動向指数）の略

### 《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 資金繰り
8. 当面の経営上の問題点

調査対象企業数及び回収結果

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果 構成比
全業種	2,000	602	30.1%	
中小企業	1,906	567	29.7%	94.2%
大企業	94	35	37.2%	5.8%

業種別	対象数	回答数	回答率	回答結果 構成比
全業種	2,000	602	30.1%	
<b>建設業</b>	<b>346</b>	<b>103</b>	<b>29.8%</b>	<b>17.1%</b>
土木建設業	141	44	31.2%	7.3%
建設付帯工事業	82	19	23.2%	3.2%
電気・管工事業	123	40	32.5%	6.6%
<b>製造業</b>	<b>237</b>	<b>80</b>	<b>33.8%</b>	<b>13.3%</b>
食料品製造業	75	18	24.0%	3.0%
繊維製品製造業	10	2	20.0%	0.3%
建材・木・紙製品製造業	10	2	20.0%	0.3%
印刷・製本業	45	16	35.6%	2.7%
窯業・土木製品製造業	9	3	33.3%	0.5%
金属製品製造業	21	13	61.9%	2.2%
一般機械器具製造業	22	10	45.5%	1.7%
電気機械器具製造業	21	7	33.3%	1.2%
その他製造業	24	9	37.5%	1.5%
<b>卸売業</b>	<b>306</b>	<b>108</b>	<b>35.3%</b>	<b>17.9%</b>
食料品卸売業	82	27	32.9%	4.5%
繊維製品卸売業	26	7	26.9%	1.2%
建材・住宅機器卸売業	41	21	51.2%	3.5%
金属・鋼材卸売業	5	1	20.0%	0.2%
一般機械器具卸売業	54	14	25.9%	2.3%
電気機械製品卸売業	8	3	37.5%	0.5%
石油・化学製品卸売業	11	6	54.5%	5.8%
その他卸売業	79	29	36.7%	4.8%
<b>小売業</b>	<b>224</b>	<b>65</b>	<b>29.0%</b>	<b>10.8%</b>
食料品小売業	57	19	33.3%	3.2%
衣料品・身の回り品小売業	33	5	15.2%	0.8%
石油・化学製品小売業	11	5	45.5%	0.8%
車両運搬具小売業	15	3	20.0%	0.5%
家電・厨房器具小売業	21	6	28.6%	1.0%
量販店	3	2	66.7%	0.3%
その他小売業	84	25	29.8%	4.2%
<b>運輸・倉庫業</b>	<b>115</b>	<b>36</b>	<b>31.3%</b>	<b>6.0%</b>
旅客運送業	38	7	18.4%	1.2%
貨物運送・倉庫業	77	29	37.7%	4.8%
<b>サービス業</b>	<b>772</b>	<b>210</b>	<b>27.2%</b>	<b>34.9%</b>
情報処理サービス業	111	30	27.0%	5.0%
その他事務所サービス業	365	104	28.5%	17.3%
ホテル・旅館・飲食業	104	29	27.9%	4.8%
その他の個人サービス業	192	47	24.5%	7.8%

# 1. 自社・業界の景況

《景気は足元では悪化、次期は改善する見通し》

今四半期（H30年7～9月）の地場企業の景況状況としては、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は22.0%（前期比▲3.3ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は29.2%（前期比+1.7ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は43.7%（前期比+1.7ポイント）となった。景況判断指数DI値は▲7.2（前期DI値▲2.2）となり、前期比で▲5.0ポイントと悪化した。

業種別にみると、卸売業（前期▲13.3→今期▲9.3）で改善となったが、運輸・倉庫業（+27.9→▲11.2）、小売業（▲27.4→▲35.4）、建設業（±0.0→▲6.9）、製造業（▲6.3→▲12.6）、サービス業（+6.9→+4.8）では悪化となった。

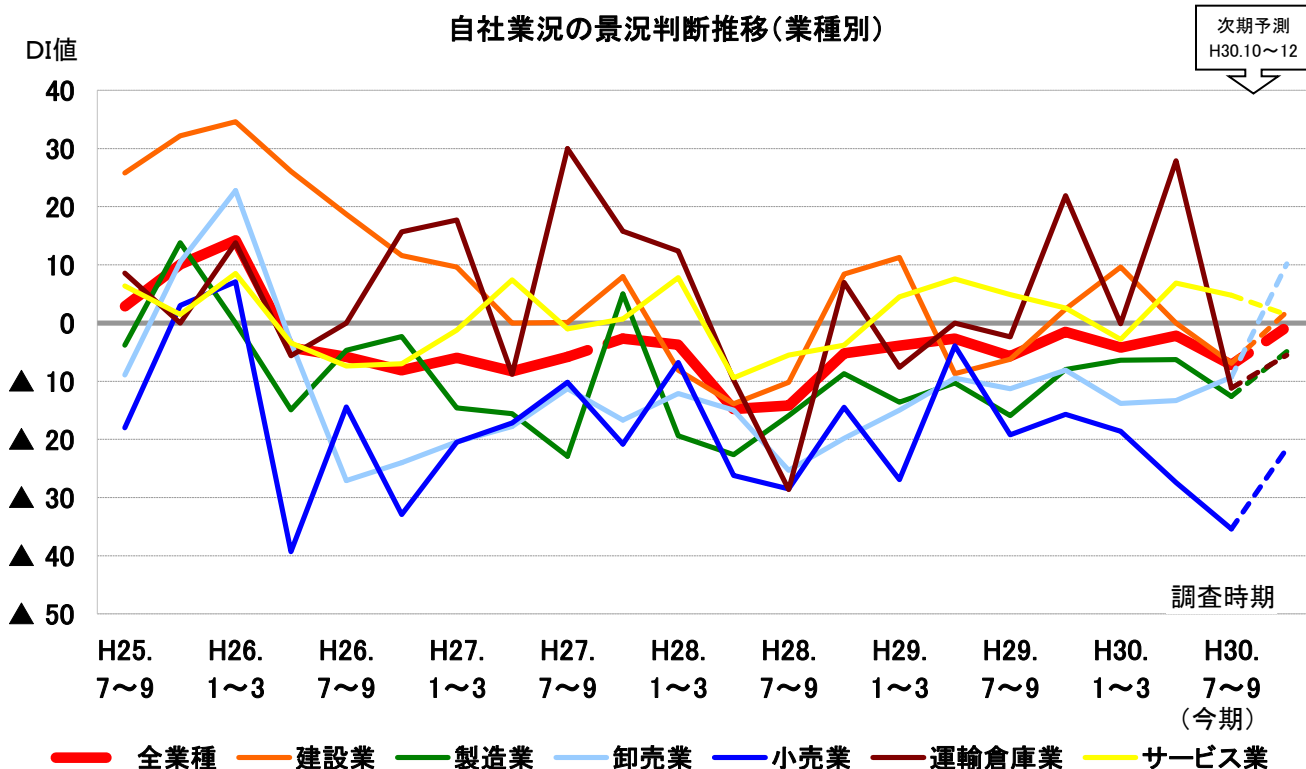
規模別にみると、中小企業・大企業とも悪化し、特に大企業は▲11.4（前期比▲14.4ポイント）と大幅な悪化となった。（中小企業DI値▲7.0（前期比▲4.6ポイント））

次期四半期（平成30年10月～12月）予測については、▲0.7となっており、今期比+6.5ポイントで、改善の見通しとなる。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(30年7～9月期)実績							次四半期(30年10～12月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	1.7	20.3	43.7	24.4	4.8	5.1	▲7.2	0.8	19.4	41.2	19.1	1.8	17.6	▲0.7
建設業	1.9	17.5	51.5	21.4	4.9	2.9	▲6.9	0.0	17.5	50.5	14.6	1.0	16.5	1.9
製造業	2.5	17.5	33.8	26.3	6.3	13.8	▲12.6	1.3	18.8	30.0	22.5	2.5	25.0	▲4.9
卸売業	0.0	23.1	38.0	27.8	4.6	6.5	▲9.3	0.0	26.9	34.3	16.7	0.0	22.2	10.2
小売業	1.5	10.8	36.9	38.5	9.2	3.1	▲35.4	0.0	13.8	38.5	30.8	4.6	12.3	▲21.6
運輸・倉庫業	0.0	22.2	44.4	30.6	2.8	0.0	▲11.2	0.0	16.7	50.0	19.4	2.8	11.1	▲5.5
サービス業	2.4	23.8	48.6	18.1	3.3	3.8	4.8	1.9	19.0	43.8	17.6	1.9	15.7	1.4
中小企業	1.6	20.3	44.1	24.0	4.9	5.1	▲7.0	0.7	19.9	40.4	19.0	1.8	18.2	▲0.2
大企業	2.9	20.0	37.1	31.4	2.9	5.7	▲11.4	2.9	11.4	54.3	20.0	2.9	8.6	▲8.6



## 2. 生産額、売上額、完成工事高

《足元では悪化したが、横ばいの傾向》

生産額、売上額、完成工事高については、全業種では「増えた」と回答した企業は20.0%（前期比▲3.1ポイント）、「減った」と回答した企業は25.9%（前期比+3.2ポイント）、「横ばい」と回答した企業は50.5%（前期比▲1.3ポイント）となっており、DI値は▲5.9（前期DI値+0.4）と、前期比▲6.3ポイントの悪化となった。

業種別にみると、運輸・倉庫業（前期+16.2→今期▲2.7）、建設業（±0.0→▲6.8）、卸売業（▲3.7→▲10.1）、製造業（▲2.5→▲8.8）、小売業（▲21.9→▲27.6）、サービス業（+8.3→+3.8）と全業種で悪化となった。

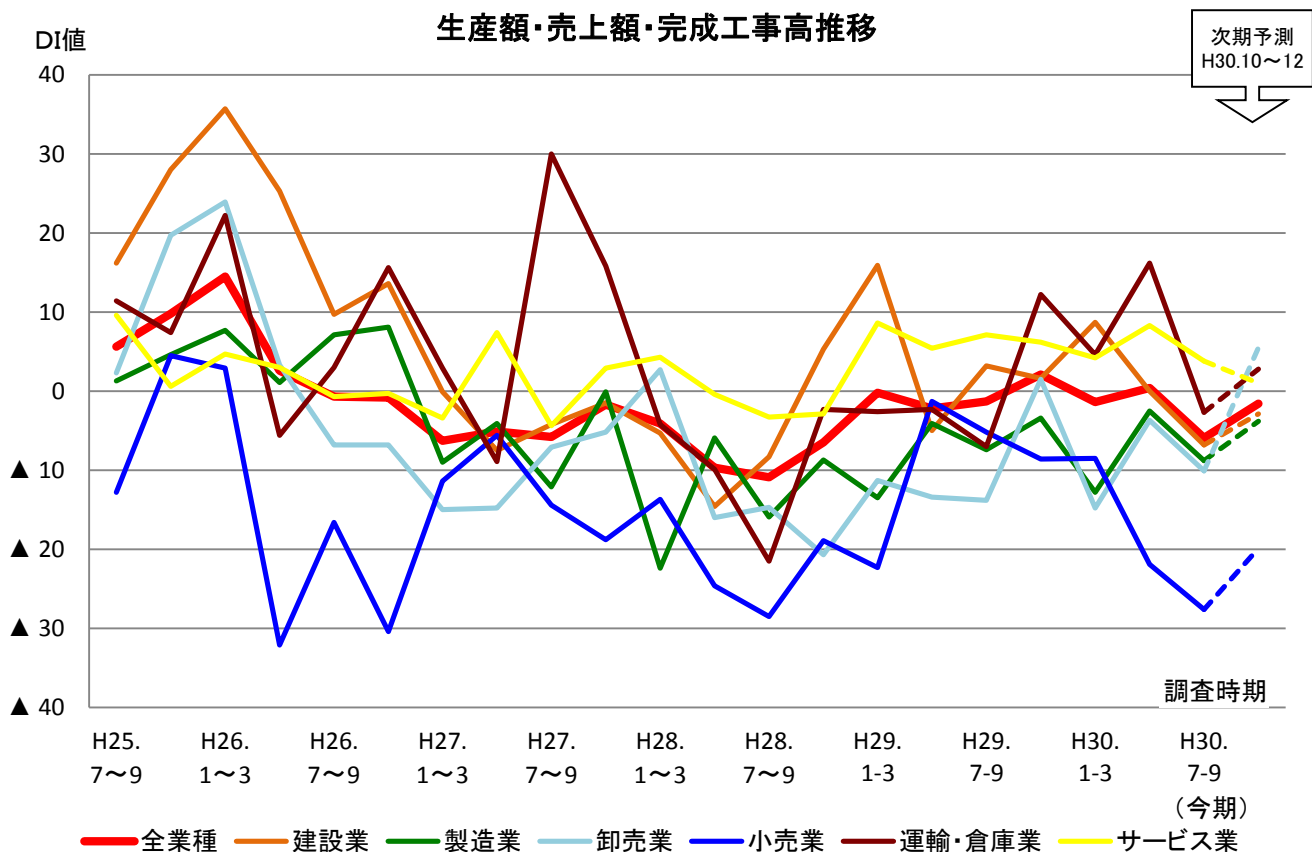
規模別にみると、中小企業・大企業とも悪化し、特に大企業は±0.0（前期比▲18.1ポイント）と大幅な悪化となった。（中小企業DI値▲6.4（前期比▲5.7ポイント））

次四半期（平成30年10月～12月）予測については▲1.6となっており、改善の見通しとなる。

《生産額、売上額、完成工事高（前年同期と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(30年7～9月期)実績							次四半期(30年10～12月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	4.2	15.3	50.5	19.9	6.0	3.7	▲5.9	2.2	14.8	51.2	15.8	2.8	13.3	▲1.6
建設業	2.9	11.7	61.2	14.6	6.8	2.9	▲6.8	1.0	10.7	66.0	10.7	3.9	7.8	▲2.9
製造業	5.0	20.0	40.0	27.5	6.3	1.3	▲8.8	0.0	20.0	38.8	21.3	2.5	17.5	▲3.8
卸売業	2.8	17.6	46.3	22.2	8.3	2.8	▲10.1	3.7	19.4	47.2	14.8	2.8	12.0	5.5
小売業	3.1	10.8	38.5	32.3	9.2	6.2	▲27.6	3.1	6.2	47.7	24.6	4.6	13.8	▲19.9
運輸・倉庫業	2.8	16.7	52.8	22.2	0.0	5.6	▲2.7	0.0	16.7	52.8	13.9	0.0	16.7	2.8
サービス業	5.7	16.7	54.8	14.3	4.3	4.3	3.8	2.9	14.8	51.4	14.3	2.4	14.3	1.0
中小企業	4.2	15.5	50.4	19.8	6.3	3.7	▲6.4	2.3	14.3	50.6	16.0	3.0	13.8	▲2.4
大企業	2.9	20.0	51.4	22.9	0.0	2.9	0.0	0.0	22.9	60.0	11.4	0.0	5.7	11.5



### 3. 原材料、製（商）品仕入価格

《足元ではほぼ横ばい。次期は下落する見通し》

原材料、製（商）品仕入価格については、「上昇」と回答した企業は34.2%（前期比▲0.2ポイント）、「下落」と回答した企業は1.8%（前期比+0.3ポイント）、「横ばい」と回答した企業は50.5%（前期比▲0.3ポイント）となっており、DI値は+32.4（前期+32.9）と前期比▲0.5ポイントと、ほぼ横ばいとなった。

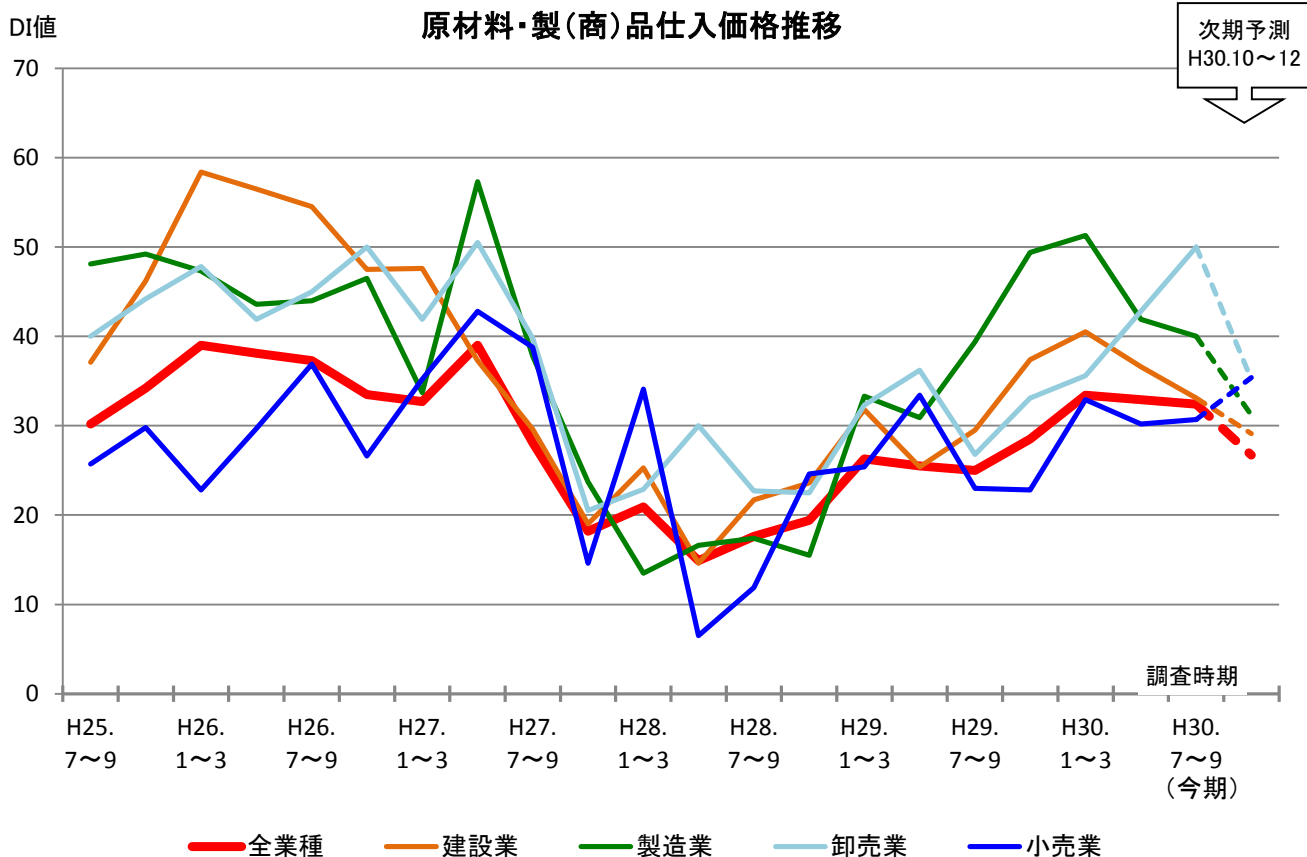
業種別にみると、卸売業（前期+42.8→今期+50.0）、運輸・倉庫業（+44.2→+47.2）、小売業（+30.2→+30.7）で上昇となったが、建設業（+36.6→+33.1）、サービス業（+20.8→+18.1）、製造業（+41.9→+40.0）では下落となった。

規模別にみると、大企業（前期+15.2→今期+11.4）では下落、中小企業（+33.9→+33.6）ではほぼ横ばいとなった。

次四半期（平成30年10月～12月）予測については、+26.7となっており、今期比で▲5.7ポイントで、下落の見通しとなる。

《 原材料、製品仕入価格（前年同期と比較して） 》 (単位 %)

	今四半期(30年7～9月期)実績					次四半期(30年10～12月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	34.2	50.5	1.8	13.5	32.4	27.9	48.8	1.2	22.1	26.7
建設業	35.0	57.3	1.9	5.8	33.1	29.1	57.3	0.0	13.6	29.1
製造業	41.3	53.8	1.3	3.8	40.0	32.5	47.5	1.3	18.8	31.2
卸売業	51.9	43.5	1.9	2.8	50.0	36.1	50.0	0.9	13.0	35.2
小売業	33.8	55.4	3.1	7.7	30.7	36.9	47.7	1.5	13.8	35.4
運輸・倉庫業	47.2	22.2	0.0	30.6	47.2	33.3	30.6	0.0	36.1	33.3
サービス業	20.0	52.9	1.9	25.2	18.1	17.6	48.1	1.9	32.4	15.7
中小企業	35.4	49.9	1.8	12.9	33.6	29.1	47.8	1.1	22.0	28.0
大企業	14.3	60.0	2.9	22.9	11.4	8.6	65.7	2.9	22.9	5.7



#### 4. 受注価格、販売価格 《緩やかな上昇傾向》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業は11.0%（前期比▲2.3ポイント）、「下落」と回答した企業は11.3%（前期比+1.6ポイント）、「横ばい」と回答した企業は72.1%（前期比+0.3ポイント）となっており、DI値は▲0.3（前期DI値+3.6）と前期比▲3.9ポイントとなった。

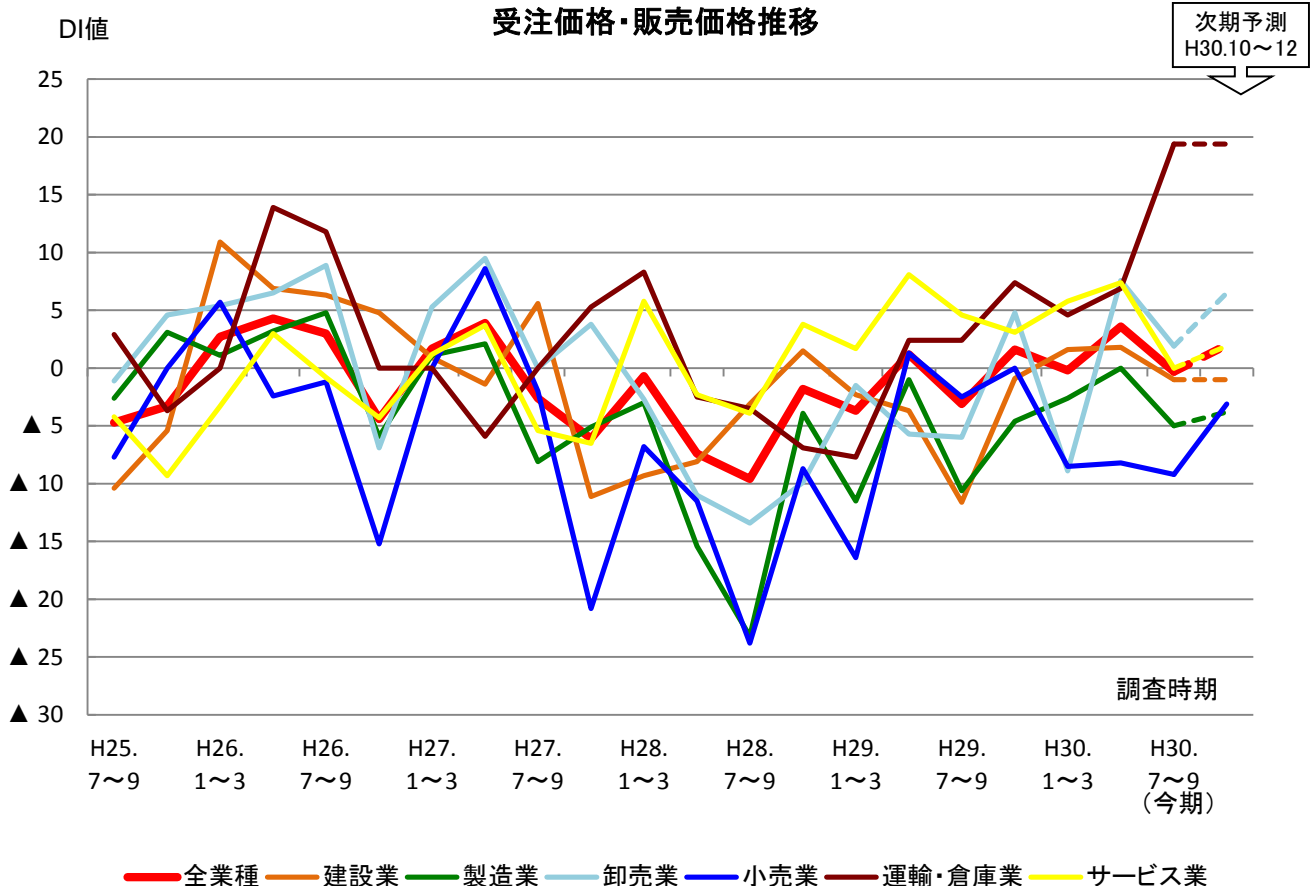
業種別にみると、運輸・倉庫業（前期+6.9→今期+19.4）で上昇となったが、サービス業（+7.4→±0.0）、卸売業（前期+7.6→今期+1.9）、製造業（±0.0→▲5.0）、建設業（+1.8→▲1.0）、小売業（▲8.2→▲9.2）では下落となった。

規模別にみると、中小企業（前期+3.4→今期▲0.2）、大企業（+6.1→▲2.9）とともに下落した。

次期（平成30年10月～12月）予測については、+2.0となっており、今期比で+2.3ポイントで上昇の見通しとなる。

《 受注価格、販売価格(前年同月と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(30年7~9月期)実績					次四半期(30年10~12月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	11.0	72.1	11.3	5.6	▲0.3	9.6	67.1	7.6	15.6	2.0
建設業	9.7	76.7	10.7	2.9	▲1.0	6.8	76.7	7.8	8.7	▲1.0
製造業	8.8	73.8	13.8	3.8	▲5.0	7.5	62.5	11.3	18.8	▲3.8
卸売業	17.6	64.8	15.7	1.9	1.9	13.9	67.6	7.4	11.1	6.5
小売業	7.7	69.2	16.9	6.2	▲9.2	9.2	63.1	12.3	15.4	▲3.1
運輸・倉庫業	22.2	61.1	2.8	13.9	19.4	19.4	58.3	0.0	22.2	19.4
サービス業	8.1	75.7	8.1	8.1	0.0	8.1	66.7	6.2	19.0	1.9
中小企業	11.3	71.8	11.5	5.5	▲0.2	9.9	66.5	7.8	15.9	2.1
大企業	5.7	77.1	8.6	8.6	▲2.9	5.7	77.1	5.7	11.4	0.0



## 5. 製（商）品在庫

《緩やかに適正方向へ》

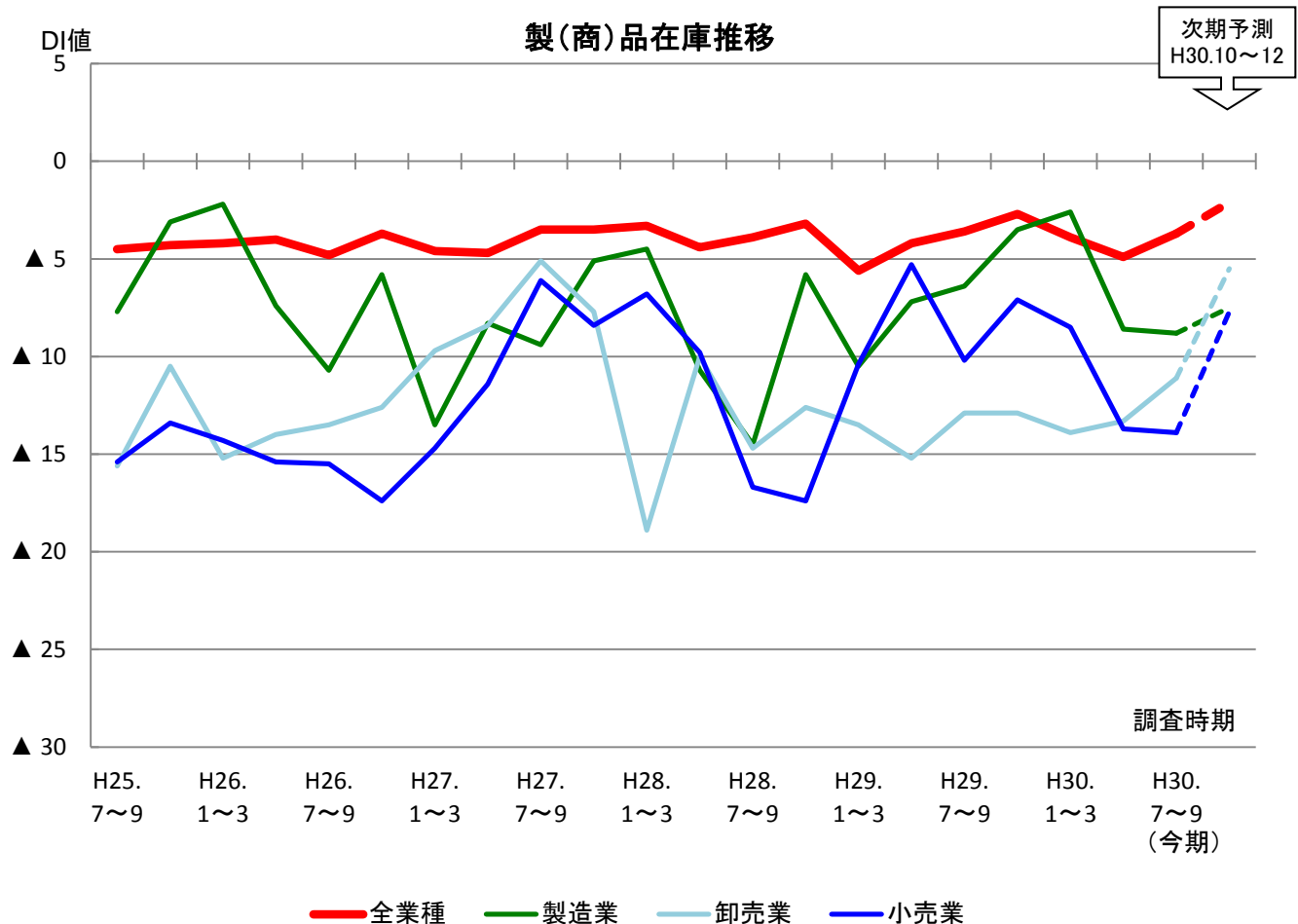
製（商）在庫については、「適正」と回答した企業は66.1%（前期比▲2.7ポイント）、「不足」と回答した企業は2.8%（前期比+1.2ポイント）、「過剰」と回答した企業は6.5%（前期比±0.0ポイント）となっており、DI値は▲3.7（前期DI値▲4.9）となった。

次四半期（平成30年10月～12月）予測については、▲2.1（今期比+1.6ポイント）の見通しとなる。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(30年7～9月期)実績					次四半期(30年10～12月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	2.8	66.1	6.5	24.6	▲3.7	2.2	61.5	4.3	32.1	▲2.1
建設業	1.0	58.3	1.0	39.8	0.0	1.0	52.4	1.9	44.7	▲0.9
製造業	5.0	78.8	13.8	2.5	▲8.8	2.5	68.8	10.0	18.8	▲7.5
卸売業	2.8	77.8	13.9	5.6	▲11.1	1.9	76.9	7.4	13.9	▲5.5
小売業	1.5	76.9	15.4	6.2	▲13.9	1.5	73.8	9.2	15.4	▲7.7
運輸・倉庫業	2.8	52.8	0.0	44.4	2.8	2.8	47.2	0.0	50.0	2.8
サービス業	3.3	58.1	1.0	37.6	2.3	2.9	53.8	1.0	42.4	1.9
中小企業	3.0	65.8	6.7	24.5	▲3.7	2.3	60.8	4.4	32.5	▲2.1
大企業	0.0	71.4	2.9	25.7	▲2.9	0.0	71.4	2.9	25.7	▲2.9





## 6. 営業利益

《足元は緩やかに悪化、次期は持ち直す見通し》

営業利益については、「増加」と回答した企業は17.9%（前期比▲0.3ポイント）、「減少」と回答した企業は33.1%（前期比+1.6ポイント）、「横ばい」と回答した企業は47.3%（前期比▲2.4ポイント）となっており、DI値は▲15.2（前期DI値▲13.3）で前期比▲1.9ポイントとなった。

業種別にみると、サービス業（前期▲3.4→今期▲3.3）、卸売業（▲23.8→▲24.1）、小売業（▲32.9→▲33.9）ではほぼ横ばいとなった。一方、運輸・倉庫業（▲4.7→▲16.7）、建設業（▲9.0→▲13.6）、製造業（▲17.3→▲20.0）では悪化となった。

規模別にみると、中小企業・大企業ともに悪化し、特に大企業は▲2.8（前期比▲24.0ポイント）と大幅な悪化となった。（中小企業DI値▲15.9（前期比▲0.7ポイント））。

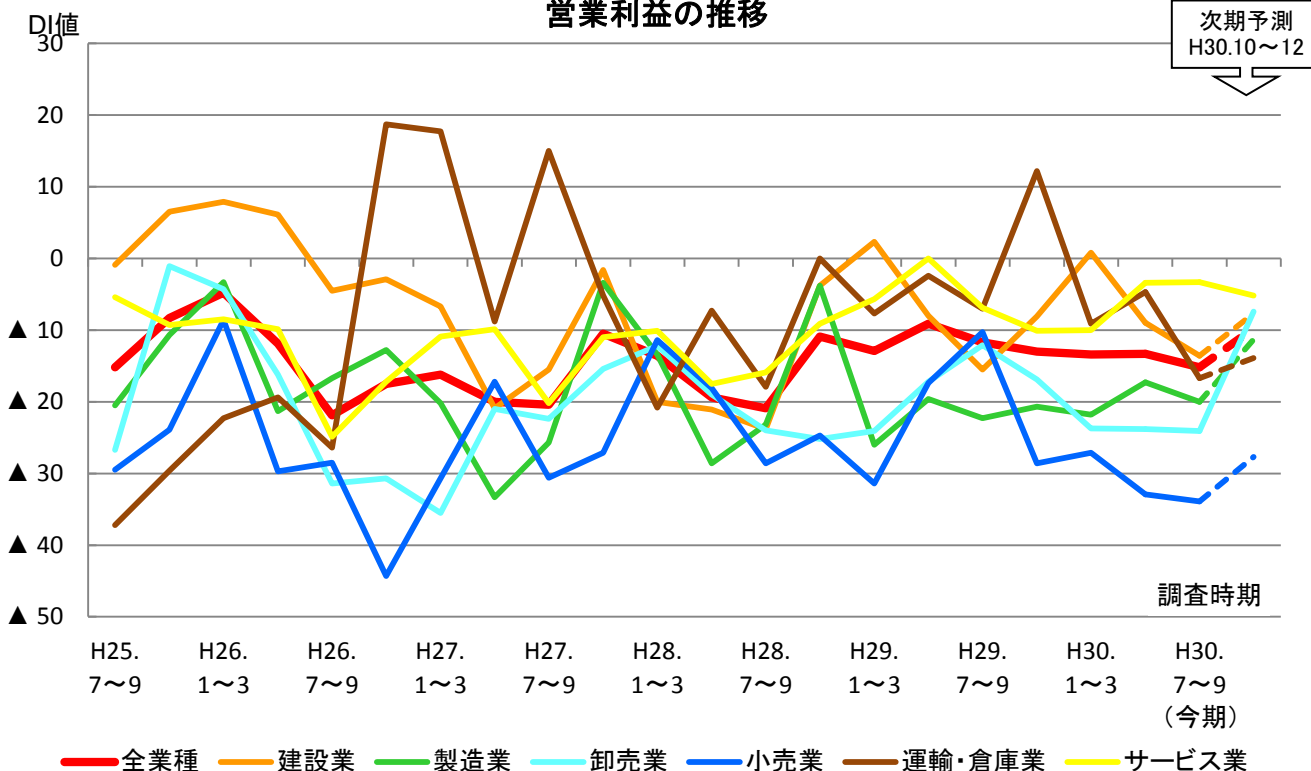
次四半期（平成30年10月～12月）予測については、▲9.8となっており、今期比で+5.4ポイントで、緩やかに改善する見通しとなる。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(30年7～9月期)実績					次四半期(30年10～12月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	17.9	47.3	33.1	1.7	▲15.2	13.5	50.0	23.3	13.3	▲9.8
建設業	15.5	54.4	29.1	1.0	▲13.6	10.7	63.1	18.4	7.8	▲7.7
製造業	17.5	42.5	37.5	2.5	▲20.0	12.5	45.0	23.8	18.8	▲11.3
卸売業	14.8	41.7	38.9	4.6	▲24.1	14.8	50.9	22.2	12.0	▲7.4
小売業	12.3	38.5	46.2	3.1	▲33.9	9.2	38.5	36.9	15.4	▲27.7
運輸・倉庫業	19.4	44.4	36.1	0.0	▲16.7	11.1	50.0	25.0	13.9	▲13.9
サービス業	22.4	51.9	25.7	0.0	▲3.3	16.2	48.6	21.4	13.8	▲5.2
中小企業	17.3	48.1	33.2	1.4	▲15.9	12.9	50.4	23.3	13.4	▲10.4
大企業	28.6	34.3	31.4	5.7	▲2.8	22.9	42.9	22.9	11.4	0.0

営業利益の推移



## 7. 資金繰り

《足元ではほぼ横ばい。次期は緩やかな悪化の傾向》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は12.3%（前期比+0.3ポイント）、「苦しい」と回答した企業は16.4%（前期比+2.3ポイント）、「不変」と回答した企業は69.8%（前期比▲2.9ポイント）となっており、DI値は▲4.1（前期DI値▲2.1）と前期比▲2.0ポイントと、悪化となった。

業種別にみると、運輸・倉庫業（前期+16.3→今期+2.8）、製造業（▲3.7→▲13.7）、サービス業（+4.0→±0.0）、小売業（▲21.9→▲23.1）は悪化した。一方、建設業（±0.0→+4.8）、卸売業（▲8.6→▲4.7）は改善した。

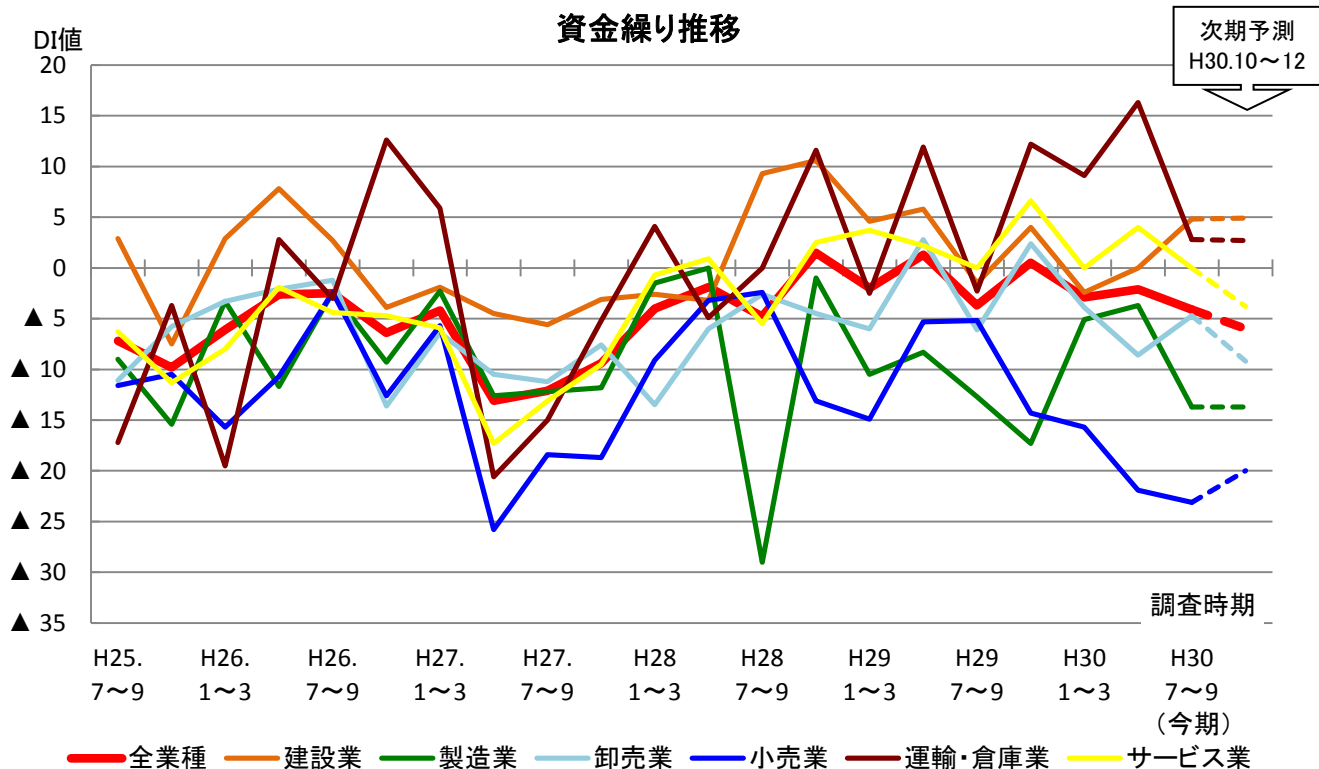
規模別にみると、大企業（前期+12.1→今期+2.8）、中小企業（▲2.9→▲4.6）ともに悪化となった。

次四半期（平成30年10月～12月）予測については、▲6.0となっており、今期比で▲1.9ポイントと、悪化の傾向となる。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(30年7～9月期)実績					次四半期(30年10～12月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	12.3	69.8	16.4	1.5	▲4.1	8.8	63.6	14.8	12.8	▲6.0
建設業	15.5	71.8	10.7	1.9	4.8	13.6	68.9	8.7	8.7	4.9
製造業	8.8	66.3	22.5	2.5	▲13.7	3.8	58.8	17.5	20.0	▲13.7
卸売業	12.0	70.4	16.7	0.9	▲4.7	9.3	63.0	18.5	9.3	▲9.2
小売業	4.6	66.2	27.7	1.5	▲23.1	4.6	60.0	24.6	10.8	▲20.0
運輸・倉庫業	13.9	69.4	11.1	5.6	2.8	8.3	72.2	5.6	13.9	2.7
サービス業	14.3	71.0	14.3	0.5	0.0	9.5	62.9	13.3	14.3	▲3.8
中小企業	12.7	68.6	17.3	1.4	▲4.6	9.2	62.1	15.5	13.2	▲6.3
大企業	5.7	88.6	2.9	2.9	2.8	2.9	88.6	2.9	5.7	0.0



## 8. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「人材難、求人難、定着化の悪化」55.0%（前期比+2.2ポイント）であり、次いで「受注、需要の増加又は減少」29.7%（前期比▲1.1ポイント）、「経費の増加」29.1%（前期比+2.8ポイント）、「営業利益の低下」27.1%（前期比+2.6ポイント）、「天候などの自然条件」26.1%（前期比+11.2ポイント）となった。

業種別でみると、「人材難、求人難、定着化の悪化」が最も多い割合とする業種が多く、建設業73.8%、サービス業62.9%、運輸・倉庫業55.6%となっている。また「受注、需要の増加又は減少」が最も多かった業種は製造業43.8%であった。

規模別でみると、中小企業、大企業ともに「人材難、求人難、定着化の悪化」が最も多く、中小企業54.7%、大企業60.0%であった。

《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

(単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	天候などの自然条件	受注、需要の増加又は減少	出店、業者、大型店の進出	官公需の停滞	輸出の不振	元直請の減少	低下率、稼働率	原材料高、入手難	出荷下、納品価格	過剰在庫	販売価格への転嫁	増加、不良債権の回収	販売期間の長期化
全業種	26.1	29.7	10.0	7.6	0.5	2.7	5.1	15.0	6.1	3.7	15.3	2.0	3.5
建設業	16.5	34.0	3.9	15.5	0.0	10.7	4.9	15.5	1.9	1.0	8.7	1.9	3.9
製造業	20.0	43.8	10.0	6.3	2.5	1.3	11.3	22.5	11.3	6.3	22.5	1.3	2.5
卸売業	38.0	32.4	10.2	6.5	0.9	0.0	2.8	21.3	14.8	8.3	27.8	5.6	4.6
小売業	43.1	29.2	23.1	6.2	0.0	1.5	0.0	10.8	7.7	7.7	16.9	0.0	4.6
運輸・倉庫業	47.2	16.7	2.8	0.0	0.0	2.8	13.9	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	18.1	23.3	10.0	6.7	0.0	1.0	4.3	8.6	2.4	1.0	11.4	1.4	3.3
中小企業	24.7	30.7	9.2	8.1	0.4	2.8	4.9	15.2	6.3	3.9	15.2	2.1	3.7
大企業	48.6	14.3	22.9	0.0	2.9	0.0	8.6	11.4	2.9	0.0	17.1	0.0	0.0

5位 2位

問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不陸店代刺店上家化人費入対劳資金利難情その他無回答	不足、舗の老、設、遅れ、化備、過、近	家が賃り、地代の値	化難人、材定着、化求の悪	増人手過剰、人件	策務管理、組合	資金借入難	金利負担の増加	情報不足、人手	その他	無回答
全業種	29.1	27.1	2.7	8.0	2.3	55.0	10.5	6.3	4.2	3.7	3.8	2.0	7.0
建設業	24.3	24.3	2.9	1.9	2.9	73.8	13.6	6.8	1.9	2.9	3.9	1.0	6.8
製造業	26.3	28.8	3.8	11.3	0.0	45.0	11.3	2.5	6.3	1.3	3.8	2.5	6.3
卸売業	27.8	35.2	1.9	7.4	2.8	38.0	6.5	3.7	7.4	6.5	4.6	1.9	7.4
小売業	38.5	35.4	1.5	15.4	3.1	40.0	10.8	4.6	1.5	0.0	1.5	4.6	1.5
運輸・倉庫業	22.2	16.7	2.8	8.3	2.8	55.6	11.1	13.9	0.0	5.6	2.8	2.8	5.6
サービス業	31.4	22.9	2.9	7.6	2.4	62.9	10.5	8.1	4.3	4.3	4.3	1.4	9.0
中小企業	28.7	27.3	2.6	7.6	2.5	54.7	10.4	6.2	4.4	3.7	3.9	2.1	7.1
大企業	34.3	22.9	2.9	14.3	0.0	60.0	11.4	8.6	0.0	2.9	2.9	0.0	5.7

3位 4位

1位

自社業況の景況判断推移(「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考)

